

Information

グループホームの世話人を募集！

ハーモニーやまなみの入居者の支援をして頂く世話人さんを募集しています。希望者は下記の法人の連絡先までご連絡下さい。

【内 容】朝晩の食事作り、生活指導、相談支援など

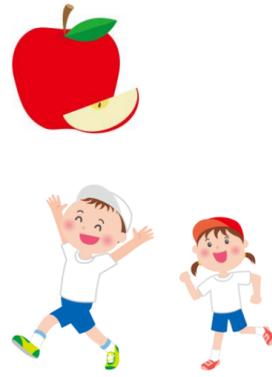
【勤 務】シフトにより、月に15日程度の勤務

朝7:00～10:00 夕15:00～19:00

実働6～7時間/日、3～5日/週

【時 給】930円より（3ヶ月間の試用期間あり、時給880円）

【待 遇】通勤手当有、賞与あり、有給休暇あり、



新年度(令和3年)度賛助会員募集中！

「山脈」の設立趣旨に賛同し、私達の活動を応援してくれる方を募集します。一口2,000円で何口でもかまいません。昨年に引き続き、皆様の温かいご理解とご支援を宜しくお願い致します。

賛助会員 年会費 2,000円(一口)

山脈ニュースをお届けします

賛助会員になられた方には、毎月、当法人の活動の内容をお伝えする「山脈ニュース」をお届けします。

発 行

特定非営利活動法人 山 脈 理事長 笹澤 繁男

住 所：〒370-3604 群馬県北群馬郡吉岡町大字南下 983-2(みやま工房内)

電 話：0279-54-2947 FAX：0279-54-9171

E-mail：rep@npo-yamanami.jp

URL：<http://www.npo-yamanami.jp/>

運 営 就労継続支援B型事業所「みやま工房」
就労継続支援B型事業所「麦のゆめ」
就労継続支援B型事業所「キッチンハウスみやま」
多機能型事業所(生活訓練・就労移行支援・就労定着支援)「ワークハウスみやま」
グループホーム「ハーモニーやまなみ」1号・2号・3号・5号・6号

(文責：笹澤賢一)

NPO
法人

山脈ニュース

2021.10

No.219

「みんなが主人公のまち」の動画撮影をしました！

10月29日(金)、「きょうされん第4回全国大会」がオンライン形式にて開催されます。今回の全国大会では、オンライン開催の良さを活かし、参加者全員が主人公となり全国の仲間とつながる様々な企画が用意されています。その目玉ともなるのが今大会のテーマソング「みんなが主人公のまち」を「みんなであたおう！」という企画です。

この「みんなであたおう！」という企画は、きょうされんに加盟している全国の仲間がそれぞれ思い思いの方法でテーマソングを歌い、その模様を動画に撮影し、きょうされんの全国事務所に寄せます。寄せられた動画は大会当日のオープニングで全国の支部拠点や会員に配信されます。

また、全国から寄せられた動画は、youtubeにアップされて視聴ができます。既に30箇所を超える全国の仲間からの応募があります。全国の仲間の歌声を聴いて下さい。下記からアクセスできます。

<https://www.youtube.com/channel/UCFWeDzw8CQkXLvi-I-Z43ew>

山脈の選抜メンバーがテーマソングを熱唱！

8月19日(木)、午後から法人本部の会議室で「みんなが主人公のまち」の動画撮影を行いました。当日は、各事業所から選抜された代表が10名集まりました。まずは2番まである歌のパートを決め、歌の練習をしました。参加者のみんなは、事前にきょうされんから配信されていた歌の動画を聞き込みメロディを覚えて頂いていたので、思いのほか順調です。少し慣れたところで、今度は動きを付けて練習をしました。パート毎に入れ替わりながらマイクの前で歌うのですが、さすがに最初はぶつかり合ったりと大変でした。しかし、これも何度か練習するとい感じになってきました。

そして、最後は歌詞に併せて考えたオリジナルのダンスというか手や足の動きを付けて行くのですが、これはなかなか難しい。手を動かせば、口が止まり、歌に集中すれば手足に動きが止まる。でもこちらでも次第にいい感じになってきました。

ともかく何にしてもみんなの真剣なまなざしと楽しいそうな雰囲気。それが伝わる動画が撮れました。これは大会の当日、オンライン配信により全国の仲間に見てもらおうのが楽しみです。

※なお、諸般の事情により、山脈の動画はきょうされんのyoutubeにはアップされていません。



自立生活援助を利用してアパートで暮らそう！

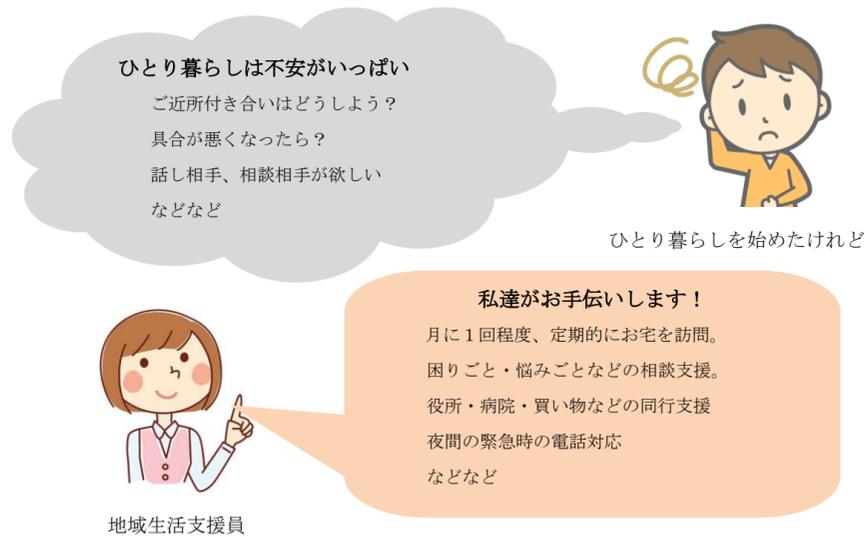
今年の2月より、「ハーモニーやまなみ」では、グループホームを退所してアパートで生活を始めた方など、地域で暮らし始めた方に対して訪問による見守り・相談、緊急時の支援などを行う障がい者福祉サービス「自立生活援助」を実施しています。

自立生活援助ってどんなサービス？

長く病院に入院されていた方や入居施設に入居されていた方が、アパート等でのひとり暮らしを始めるには不安なことや心配ごとがたくさんあります。「自立生活援助」では、自立生活支援員と呼ばれる職員が、月1回程度、アパート等を訪問し、利用者の困りごとなどの相談を受けます。また、相談支援事業所の相談員さんや地域の民生委員さんなどの地域の障害福祉に関する方々と連携をしながら、地域生活のサポート体制を築きます。

時には、行政手続きや買い物、通院などで困りごとがあれば同行支援などを行うこともあります。そして、地域で孤立しないように話し相手になったり、夜間などの緊急時の電話相談などの見守りも重要な支援になります。

利用期間は概ね1年間です。なお、継続して支援が必要な場合は延長することもできます。



サービス利用者の声を聞いてみましょう！

現在、「ハーモニーやまなみ」の「自立生活援助」の利用者は4名います。全員に、「地域での生活について」と題したアンケートに協力して頂きました。利用者さん達の声聞いてみましょう！

Q1. 年代と性別は？

年代は、30代の方が1名、40代の方が2名、50代の方が1名です。
また、男性が1名、女性が3名です。

Q2. 現在のお住まいのタイプは？

全員、アパートで暮らされています。

Q3. 現在、同居の方はいますか？

ひとり暮らしの方が2名。もう2名の方は、以前からお付き合いをしていたのですが、今回、おふたりともグループホームを出て、アパートで一緒に暮らし始めました。

Q4. 以前、暮らしていたところは？

グループホームが3名、アパートが1名でした。

Q5. 地域で暮らし始めて良かったこと

- ・自由に時間を使えること。
- ・グループホームを出て、彼女とふたりで暮らせるようになったことです。
- ・グループホームでは、門限や外出届の提出などルールがあつて外出が自由に出来なかったけど、アパートでは自由に時間を気にせず色々なところへ行けるようになってよかった。
- ・自治体が費用負担してくれる自立支援サービスがあることがうれしい。

※グループホームも病院や入居施設から地域へ出て暮らす場所ですが、どうしても福祉サービスとして運営しているため安全管理等により、門限など生活に様々な制約がありました。今は、アパートに出て本当の自由を満喫されているようです。

Q6. 現在の暮らしで不便なこと、不安なこと

- ・今のところないです。 ・特にありません。
 - ・隣人が一度だけ、夜中の2時まで騒いでいて困った。また、起こらないかと心配している。
- ※地域に出ると、色々な方と折り合いをつけながら暮らしていかなければなりません。
時にはお互い様という気持ちで対応することもあるようです。

Q7. 自立生活援助を受けて良かったこと

- ・悩みことを相談できること
 - ・定期的に職員さん（自立生活支援員）が来るので、部屋を綺麗に保つモチベーションになる。
 - ・時々、職員さん（自立生活支援員）と話せるので楽しい。
 - ・時々、職員さん（自立生活支援員）が来て、話を聞いてくれるからすごくうれしいです。
- ※自立生活援助の最も良いところは、相談相手がいるということのようです。これはひとり暮らしをする上でとても重要です。

Q8. 職員（自立生活支援員）にして欲しいこと、望むこと

- ・私は話が長くなる傾向があるのですが、出来れば付き合って欲しいです。
 - ・法人の情報が欲しいです。（グループホームを退所してもやまなみニュースを配布して下さい）
- ※また、自立生活援助の役目は、地域で孤立しないように見守っていくことだと思いました。

Q9. 将来の夢や希望があつたらお書き下さい

- ・今の仕事で社会保険に加入できるくらいまで頑張つて、生活を安定させたい。
 - ・彼女と一緒にふるさとの実家に帰り、ふたりでやり繰りしながらゆつくりと暮らしたい。
 - ・いつか今のアパートも出て、のんびり出来る場所に住みたいです。
- ※皆さん、アパートに出たことで更に夢や希望が広がったようです。